



「自作戦国武将甲冑展」

2017年11月6日(月)～ 11月11日(土)

開催時間:9:30～18:30

(但し、6日は12:00から、11日は16:00まで) 入場無料

 アニメやTVゲーム、コスプレなどを通じて、戦国武将の装いが世界的に注目されています。映画界では「ラストサムライ」(2003)、「のぼうの城」(2012)、「関ヶ原」(2017)が上映され、NHK大河ドラマでは「軍師官兵衛」(2014)、「真田丸」(2016)、「おんな城主 直虎」(2017)などが話題を呼び、戦国ブームとなっています。武将の装いの中で特に注目されるのは、戦国時代の後期に流行った当世具足(とうせいぐそく)と呼ばれる甲冑です。その甲冑には個性的で独創的な形、装飾があり、武士の魂を飾った美学がありました。

当世具足の中でも異色の甲冑が紀州(和歌山)の雑賀孫市で有名な雑賀衆鉄砲隊の甲冑です。鉄錆地(かなさびぢ)が基本の何とも不思議なデザインの甲冑であり、戦国武将にとっても好まれました。しかし、あまり現存していないため、城や博物館などの展示ではあまりお目に掛かれないのが実情です。今回は、雑賀の甲冑1領を新たに製作し、初展示となります。胴一式の製作には1年5カ月を要しました。その他にも雑賀の兜、侍烏帽子形(さむらいえぼしなり)、置き手拭形(おきてぬぐいなり)、製作途中の鉄板、鋳などのパーツを展示します。ご希望の方には、兜をかぶって写真をお撮りいただけます。

是非、この機会にお越しください。

製作者:市島英司

◆ 場 所:ギャラリーMenio
 (メニコンANNEX1階)

◆ お問い合わせ:株式会社メニコン
 名古屋市中区葵三丁目21-19
 ANNEX事務局
 TEL:052-935-0918

<http://www.annex.menicon.co.jp/sched>

